



あこう通信 ～「いい顔 いい声 いい心」～



発行：令和6年2月5日（月）NO.23 文責：副校長 津田 幸一

学校HP URL <http://www.nagasaki-city.ed.jp/kosakaki-e/index.html> （2次元コードからどうぞ）

卒業・進級に向けて

3学期の子どもたちは、学年まとめの学習に向かっています。その表情から、とても張り切って3学期の学校生活を過ごしていることがうかがえます。

朝マラソンも本格スタートしました。適度な運動に親しむことで、集中力もアップするのではないかと思います。

さて、もう2月となり、のこりわずかとなった今年度ですが、子どもたちもそろそろ「卒業・進級」を意識しだしているのではないのでしょうか。

私は、ぜひ、そうあってほしいと願っています。

3学期が「**今年度のまとめ・次年度につなぐ期間**」であることを理解し、自分がすべきだと考えたことを実践できる子どもたちであってほしいと願っています。

学習や生活に関わる課題を積み残さないようにすることが、これからの自己実現につながります。担任も、折に触れて、そのような話を子どもたちにしているところです。

★「あはは」運動に取り組んでいます

あ い さ つ ・ へん じ ・ 元 気 よ く
は や ね ・ は や お き ・ あ さ ご は ん
は き も の そ ろ え い い 気 持 ち

交通指導員さんの継続委嘱について

現在立哨にしてくださっている3名の皆さん全員が、これまでに引き続き、**令和6・7年度の交通指導員**も引き受けてくださいました。ありがとうございます！



山田昌伯さん



中村 功さん

天候に関わらず、年間を通じて子どもたちのために力を尽くしてくださっている皆さんです。

ぜひ、お名前とお顔を覚えていただき、お子様に、**重点目標「感謝を伝えよう」**について、促しのお声掛けをお願いいたします。



馬場 昭彦さん

「小さなこと」が「大きなこと」に

小さなことができる人

A（9歳）

9才になった夕方、お母さんに「どんな人間になってほしい？」と聞いてみたら、「お便所のトイレットペーパーが無くなっていたら新しいのに取りかえるとか、お風呂場の洗面器とかイス、石けんをすみに片付けできるとか、見過ごしてしまいそうな小さなことを、人に言われなくても自然にできる人になってほしい。」と言ったので、（何だ、そんな簡単なことか。）と思ってみたものの時間がたつにつれて、何でもない様なことだけど大変難しいことに気がついて考えこんでしまいました。

お母さんが望んでいる人間になれば「地球制覇（せいば）」したのと同じくらいの気持ちになれるだろうなあと思った。ぼくは、そんな人間になりたいなと思った。

（朝日作品コンクール入選作）

※Aくんの表記修正は津田

Aくんの質問に対して答えたお母さんの言葉である「見過ごしてしまいそうな小さなことを、人に言われなくても自然にできる人になってほしい。」には、人間を深く洞察した千鈞（せんきん）の重みがあります。

だからこそ、Aくんは「何だ、そんな簡単なことか」とはじめは思ってみたものの、「何でもいようなことだけど、大変難しい」ということに気付き、「考えこんでしまう」のです。履物を揃えて脱ぐ、ゴミを見つけたら拾う、ちょっと片付けて小綺麗にしておくなどの「**小さなこと**」は、その人の**人生観の表れであり、実は「大きなこと」**なのです。

さて、昨年末、野球の大谷選手が、歴史的な大型契約でロサンゼルス・ドジャースに移籍しました。投手と打者の「二刀流」でその存在価値を高めたこともですが、その前にこれを実現した大谷選手の**高い人間力こそ要因である**と思います。

試合前に、グラウンドに落ちているゴミを拾う大谷選手の姿は印象的です。

果たして、このことが**投球や打撃に影響する**のかどうか。人によって受け止め方は様々だと思えますが、彼本人が**成功するために自分に課した行動**なわけですから、そして**実際に実践し続けた結果**が出ているのも事実です。

大谷選手の成功は、まさに「小さなこと」が「大きなこと」につながった好例です。